

報告 1 第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定について

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査として65歳以上の町民1,500名及び、在宅介護実態調査として介護認定を受けている町民300名へ、アンケート調査を行うとともに介護福祉に係わる機関と介護保険被保険者代表の10名で計画推進懇談会を2回開催し、令和6年度からの3年間の計画期間とする本計画を策定しました。



将来像の実現のため、本計画に基づき、高齢者福祉・介護保険事業の円滑な運営に取り組んでまいります。

○施策の全体像

■ 4つの基本目標

- ① 地域包括ケアシステムの構築
- ② 高齢者福祉サービスの充実
- ③ 認知症対策の推進
- ④ 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進



■ 4つの重点施策

- ① 地域包括ケアシステムの構築
- ② 町民自らに取り組む健康づくりの推進
- ③ 介護サービス基盤の計画的な整備
- ④ 介護人材確保及び介護現場の生産性向上の推進



将来像：高齢者が住み慣れた地域でできる限り自立し、生きがいを持って自分らしく暮らせるまち

報告2 令和6年度ごみゼロ運動について

5月26日開催 11.59トンのごみを収集!!

快適できれいなまちづくりに、
ご協力ありがとうございました。



本年度のごみゼロ運動は、5月26日に町民の皆様と各種団体のご協力をいただき、無事終了することができました。

当日は晴天の中、4千人を超える多くの町民が各地域で参加され、11.59トンのごみが収集されたことをご報告しますとともに、ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

町では、今後も地域ぐるみの環境美化活動を支援しながら不法投棄のない、きれいなまちづくりに努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。



報告3 国際交流受入れ事業について

6年ぶり！

5月25日から5月31日

ドイツ・ギムナジウム・ドルフエン校
生徒20名を迎え入れ

ドイツ・ドルフエン市との国際交流は、平成29年に酒々井中学校生徒を派遣したところからスタートし、翌年にはギムナジウム・ドルフエン校の生徒が初めて当町を訪れ、相互交流に発展し、以降、コロナ禍に入っても、ビデオレター等により交流を続け、ようやく2度目の受け入れ事業の実施となったものです。

滞在中はホストファミリーとの交流中、酒々井中学校での生活、茶道、お琴などの日本文化も体験され、ホストファミリーや中学校でのもてなしに、「寝る間も惜しいくらい楽しい時間だった」と、多くのゲストが興奮気味に語ってくれました。

ホストファミリーだけでなく多くの町民の方のご協力があり、また、地域の方からのお声かけもあったと伺っております。この国際交流受入れ事業は町が一つにまとまる機会にもなったと考えております。

今後も、交流の中心である生徒の派遣と受入を通じて、ドルフエン市と酒々井町の交流の輪がさらに発展していくことを願っています。

